

エコアクション21

---

## 令和6年度 環境活動レポート

---

令和6年5月1日 ～ 令和7年4月30日



株式会社徳島機械センター

作成日: 令和7年9月1日

# 目 次

1	環境経営方針	.....	1
2	事業概要	.....	2
3	環境経営目標とその実績	.....	6
4	主要環境経営計画の内容	.....	7
5	環境活動の取組結果の評価	.....	8
6	次年度の環境経営計画の内容	.....	9
7	環境関連法規への違反・訴訟などの有無	.....	10
8	次年度の取組・代表者の評価	.....	11



# 1. 環境経営方針

《経営理念》

## 未来をつなぐ

解体工事を通じて資源循環に取り組むことで新未来に  
貢献できる会社にする。

《環境経営方針》

『私の一歩 みんなのちからでリサイクル』をスローガンに、

環境への負担削減のため下記事項で環境経営の継続的改善を推進  
します。

記

- ・ 産業廃棄物のリサイクル率の向上
- ・ 電気・軽油・灯油・ガソリン等燃料の使用量の削減
- ・ 二酸化炭素排出量の削減
- ・ 水道使用量の削減
- ・ 関係する法規・規制等の遵守

この環境経営方針を全従業員に周知いたします。

制定日：平成21年5月1日

改定日：平成22年5月1日

平成25年5月1日

平成29年5月1日

令和1年5月1日 代表者変更

令和6年5月1日

株式会社 徳島機械センター

代表取締役 新田国男

## 2. 事業概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 徳島機械センター

代表取締役 新田 国男

(2) 所在地

【本社・丈六工場】 徳島市丈六町森ノ木9番地1

コンクリート破砕施設

【渋野工場】 徳島市渋野町南谷86番2号

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の破砕施設

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずの圧縮施設

(3) 組織沿革

昭和23年 3月 新田商店を開業し、建設用骨材の販売を始める

昭和42年 4月 新田商店を改名し、株式会社 徳島機械センターを設立

平成 5年10月 リサイクル工場を丈六町に開設

平成19年11月 古物商及び金属くず取扱業許可取得

平成20年 4月 リサイクル工場を渋野町に開設

平成20年 9月 廃棄物再生事業者登録

(4) 事業の規模

・資本金	2,000 万円	
・売上高	568 百万円	(令和6年度)
・従業員数	22.0 名	(令和7年4月30日現在)
・工場敷地面積 【丈六工場】	5,000	m <sup>2</sup>
【渋野工場】	1,500	m <sup>2</sup>

(5) 環境保全関係責任者

責任者 取締役 七條早苗  
連絡先 088-645-2470

(6) 事業の内容

- ・産業廃棄物中間処理(破砕・圧縮)
- ・産業廃棄物収集運搬
- ・建築物の解体 ・土木工事

(7) 許可の内容

- ・産業廃棄物収集運搬業

許可自治体	許可番号	許可年月日	有効期限	許可品目
徳島県	3600009397	R4.8.12	R11.6.30	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改装又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん(以上15種類、特別管理産業廃棄物及び自動車等破砕物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物であるものを含む。)
兵庫県	02809009397	R4.6.6	R11.6.5	燃え殻(水銀含有ばいじん等も含む)汚泥(水銀含有ばいじん等も含む)廃油、廃酸(水銀含有ばいじん等も含む)廃アルカリ(水銀含有ばいじん等も含む)廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)、ばいじん(水銀含有ばいじん等も含む)

・産業廃棄物処分業

許可自治体 徳島県  
 許可番号 3620009397  
 許可年月日 H25.10.3 有効期限 R9.9.30

取り扱う廃棄物の種類

- 【破碎】 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
- 【圧縮】 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

・廃棄物再生事業者

許可自治体 徳島市  
 登録番号 第1号

取り扱う廃棄物の種類

【丈六工場】 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

【渋野工場】 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

・古物商許可（徳島県公安委員会許可） 第80101001642号

・金属くず取扱い業許可 【丈六工場】 第 徳警東132 号

【渋野工場】 第 徳警東134 号

(8) 保有施設

・破碎施設 (丈六工場)

型 式	PEH-3 100/105
処 理 能 力	480.00 t/日
処 理 品 目	がれき類、ガラス陶磁器くず

(渋野工場)

型 式	MC-2000
処 理 能 力	4.08 t/日
処 理 品 目	木くず

(渋野工場)

型 式	CG-22000
処 理 能 力	3.26 t/日
処 理 品 目	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

・圧縮施設 (渋野工場)

型 式	4-X25
処 理 能 力	4.90 t/日
処 理 品 目	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

・収集運搬施設

車の種類	最大積載量(t)	車両番号
10tダンプ	8.25	徳島11 ゆ 24-38
4tダンプ	3.10	徳島11 そ 27-57
4tダンプ	3.80	徳島11 そ 38-25
軽トラック	0.35	徳島41 え 90-72
4tダンプ	3.55	徳島100 さ 27-48
3tフックロール	3.00	徳島100 さ 97-35
4tフックロール	4.05	徳島100 さ 38-13
セルフ	8.75	徳島11 ゆ 297
セミトレーラ	22.25	徳島11 も 269
キャブオーバー	33.11	徳島11 ゆ 25-22
6tユニック	6.40	徳島100 は 16-26
3tユニック	3.65	徳島100 さ 78-47
2tダンプ	2.00	徳島400 そ 84-20
4tフックロール	3.95	徳島100 す 20-07
4tフックロール	3.50	徳島100 す 50-84
8tフックロール	8.00	徳島100 は 40-38
バン	0.35	徳島480 さ 46-73
バン	0.35	徳島480 せ 30-91
バン	0.35	徳島480 せ 30-92
キャブオーバー	0.35	徳島480 い 26-07

合計20台

(9) 廃棄物処理料金 別途協議による

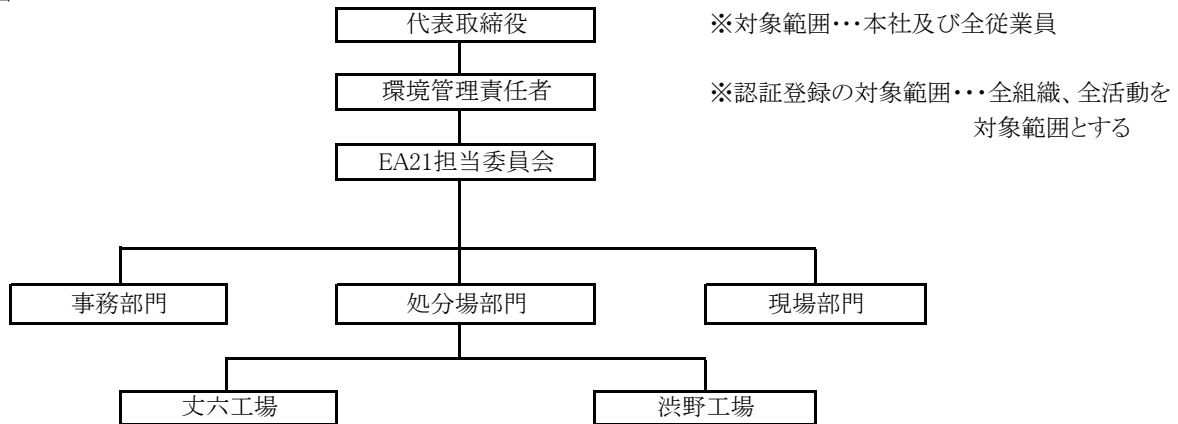
(10) 処理実績 受託した廃棄物の処理量 (令和6年度)

処理方法等	処理量(t)
収集運搬量	11,007.45
受託した中間処理量	22,458.32
中間処理後再資源化した量	22,307.41
中間処理後処分量	150.91

(11) 廃棄物処理工程図

	廃棄物の種類	処理方法	再資源化	最終処分場
1	コンクリートガラ	破砕	再生砕石として建築・土木会社に販売	
2	アスファルトガラ			
3	ガラス・陶磁器くず (廃石膏ボード以外)	圧縮	セメント会社にて熱回収の後セメント原料として マテリアルリサイクル	
				安定型埋立
4	金属くず	破砕  圧縮	金属再生業者にてマテリアルリサイクル	
5	廃プラスチック類		製紙会社にてサーマルリサイクル	
			セメント会社にて熱回収の後セメント原料として マテリアルリサイクル	
			プラスチック成型メーカーにて マテリアルリサイクル	
6	ゴムくず		セメント会社にて熱回収の後セメント原料として マテリアルリサイクル	
7	紙くず		製紙会社にてサーマルリサイクル	
			(選別)	再生紙業者にてマテリアルリサイクル
8	木くず	破砕  圧縮	製紙会社にてサーマルリサイクル	
			セメント会社にて熱回収の後セメント原料として マテリアルリサイクル	
			堆肥化して養豚場等でマテリアルリサイクル	
			セメント会社にて熱回収の後セメント原料として マテリアルリサイクル	
9	繊維くず		セメント会社にて熱回収の後セメント原料として マテリアルリサイクル	
10	廃石膏ボード	破砕	地盤改良材としてマテリアルリサイクル	
		破砕・圧縮	減量して埋立	管理型埋立
11	非飛散性石綿含有建材			安定型埋立

(12) 組織図



### 3. 環境経営目標とその実績

#### ・環境経営目標 (長期目標)

減量部門	単位	令和4年度 (実績)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
温暖効果ガス排出量	kg-CO <sub>2</sub>	325,702.38	342,271.56	342,271.56	333,471.99
エネルギー投入量(電気)	kWh	62,988.00	67,141.50	67,141.50	62,882.00
エネルギー投入量(化石燃料)	ℓ	117,749.78	121,764.14	121,764.14	119,995.60
水道使用量	m <sup>3</sup>	51.00	45.00	45.00	51.00
コピー用紙削減	kg	110.00	136.10	136.10	112.70
一般廃棄物	t	0.00	0.00	2.01	2.01
維持・増量部門	単位	令和4年度 (実績)	令和6年度 (目標値)	令和7年度 (目標値)	令和8年度 (目標値)
リサイクル率(がれき類)	%	100.00	100.00	100.00	100.00
リサイクル率(木くず)	%	100.00	100.00	100.00	100.00
リサイクル率(廃プラ)	%	95.20	100.00	90.00	68.35
リサイクル率(繊維くず)	%	100.00	100.00	100.00	100.00
リサイクル率(金属くず)	%	100.00	100.00	100.00	100.00
リサイクル率(紙くず)	%	100.00	100.00	100.00	100.00
環境教育	件	12.00	12.00	12.00	12.00

(令和6年度実績) 期間 令和6年5月1日 ~ 令和7年4月30日

減量部門	単位	R4年度 実績	R6年度目標	R6年度実績	目標に対する 割合(%)
温暖効果ガス排出量	kg-CO <sub>2</sub>	325,702.38	342,271.56	339,502.20	100.8 %
エネルギー投入量(電気)	kWh	62,988.00	67,141.50	62,776.00	107.0 %
エネルギー投入量(化石燃料)	ℓ	117,749.78	121,764.14	122,212.45	99.6 %
水道使用量	m <sup>3</sup>	51.00	45.00	51.00	88.2 %
コピー用紙削減	kg	110.00	136.10	115.40	117.9 %
一般廃棄物	t	0.00	0.00	4.02	0.0 %
維持・増量部門	単位	R4年度 実績	目標	実績	目標に対する 割合(%)
リサイクル率(がれき類)	%	100.00	100.0	100.0	100.0 %
リサイクル率(木くず)	%	100.00	100.0	100.0	100.0 %
リサイクル率(廃プラ)	%	95.20	100.0	41.5	41.5 %
リサイクル率(繊維くず)	%	100.00	100.0	100.0	100.0 %
リサイクル率(金属くず)	%	100.00	100.0	100.0	100.0 %
リサイクル率(紙くず)	%	100.00	100.0	100.0	100.0 %
環境教育	件	12.00	12.0	12.0	100.0 %

※目標に対する割合=目標/実績×100 (リサイクル率の目標に対する割合=実績/目標×100)

※四国電力の調整後排出係数は、0.446kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した。

## 4. 主要環境経営計画の内容

### ①温暖効果ガス発生量の削減(総エネルギー投入量の削減)

項目	内容	実行者
・ 電気の節約	こまめに電源を切る	事務・処分場部門
・ 燃料の節約	不要なアイドリングはしない	事務・現場・処分場部門
	車両台数、重機の見直し	現場・処分場部門

### ②水の節約

項目	内容	実行者
・ 節水	洗い物をするときには水を出しっぱなしにしない	事務部門
	洗車時は水を出しっぱなしにしない	処分場部門

### ③廃棄物のリサイクル率の向上

項目	内容	実行者
・ 再資源化率の向上	分別を徹底し、品目毎に排出する	現場・処分場部門
	少人数で効率よく分別する	現場・処分場部門

### ④コピー用紙の削減

項目	内容	実行者
・ コピー用紙の節約	両面コピーできるものは両面コピーする	事務部門
	メモ用紙として使用する、ムダに使用しない	事務部門
	液晶プロジェクターを使用し、会議の資料を減す	事務部門

### ⑤働き方改革の取り組み

項目	内容	実行者
・ 家事育児介護と仕事の両立	安心して育児や介護との両立ができるようにする	全員
・ 仕事の仕方を見直す	無駄を省き、効率の良い仕事ができるように見直す	全員

### ⑥環境教育の実施

項目	内容	実行者
・ 環境教育	毎月開催の全員参加のミーティング時に実施	全員

### ⑦緊急事態の想定

項目	内容	実行者
・ AEDの使い方	高齢社員が多くなり、夏の暑さや冬の寒さが半端	全員
	ないため緊急事態に備えて使い方講習実施	全員

## 5. 環境活動の取組結果の評価

取組内容	確認者	5月～7月	8月～10月	11月～1月	2月～4月	評価
こまめに電源を切る	事務長	○	○	◎	○	事務所がつけっぱなしが目立つので気を付けたい。
	工場長(丈六)	◎	◎	◎	◎	
	工場長(渋野)	◎	◎	◎	◎	
不要なアイドルはしない	事務長	◎	◎	◎	◎	ほぼ完璧にできているが季節によってはアイドルをしまっている。気を付けたい。
	工事部長	◎	○	◎	○	
	工場長(丈六)	◎	◎	◎	◎	
	工場長(渋野)	◎	◎	◎	◎	
車両台数、重機の見直し	工事部長	◎	◎	◎	◎	年間の目標にしていたので全員で気をつけることができた。継続したい。
	工場長(丈六)	◎	◎	◎	◎	
	工場長(渋野)	◎	◎	◎	◎	
洗い物をするときは水を出しっぱなしにしない(事務所)	事務長	◎	◎	◎	◎	今後も継続していく。
洗車時は水を出しっぱなしにしない	工場長(丈六)	◎	◎	◎	◎	引き続き取り組んでいく。
分別を徹底し、品目毎に排出する	工事部長	○	○	◎	○	新しい社員にも徹底するように教えていきたい。
	工場長(丈六)	◎	◎	◎	◎	
	工場長(渋野)	◎	◎	◎	◎	
少人数で効率よく分別する	工事部長	◎	◎	○	◎	ほぼできている。今後はさらに効率よくできるように取り組む。
	工場長(丈六)	◎	○	○	◎	
	工場長(渋野)	○	◎	◎	◎	
両面コピーできるものは両面コピーする	事務長	◎	◎	◎	◎	できている。今後も継続していく。
メモ用紙として使用する	事務長	◎	◎	◎	◎	できている。継続する。
液晶プロジェクターを使用し、会議の資料を減す	事務長	◎	◎	◎	◎	できている。今後も継続していく。
育児や介護と仕事の両立ができるようにする	全員	○	○	○	○	部署によって変わるので徹底したい。
上記のために仕事の仕方を見直す	全員	○	○	○	○	まだまだ不完全。継続する。
毎月開催の全員参加のミーティング時に実施	事務長	◎	◎	◎	◎	ほぼ参加している。今後も参加できるように調整する。
	工事部長	◎	◎	◎	◎	
	工場長(丈六)	◎	◎	◎	◎	
	工場長(渋野)	◎	◎	◎	◎	
AEDの使い方を把握し緊急事態に備える	全員	△	△	○	○	今後も何回も講習し熟知していく。

◎・・・できている ○・・・ほぼできている △・・・不十分 ×・・・できていない

取組状況の評価結果		
・ 法的要求事項の遵守状況		できている
・ 是正及び予防処置の状況		
・ 前回までの指摘事項の改善他		
目標の達成度		
温暖効果ガス排出量	100.8%	ほぼ目標を達成している
エネルギー投入量(電気)	107.0%	廃プラの分別や処分の仕方、処分場の受入れ条件が厳しくなり、苦労している。
エネルギー投入量(化石燃料)	99.6%	
水道使用量	88.2%	
コピー用紙削減	117.9%	
リサイクル率(がれき類)	100.0%	
リサイクル率(木くず)	100.0%	
リサイクル率(廃プラ)	41.5%	
リサイクル率(繊維くず)	100.0%	
リサイクル率(金属くず)	100.0%	
リサイクル率(紙くず)	100.0%	
環境教育	100.0%	
周囲の変化状況		
・ 外部コミュニケーション		工場の近隣から騒音苦情あったので対応済。今年もまつりを開催した。
・ 法的要求事項の動向他		特になし。

## 6 次年度の環境経営計画の内容

### ①温暖効果ガス発生量の削減(総エネルギー投入量の削減)

項目	内容	実行者
・ 電気の節約	こまめに電源を切る	事務・処分場部門
・ 燃料の節約	不要なアイドルはしない	事務・現場・処分場部門
	車両台数、重機の見直し	現場・処分場部門

### ②水の節約

項目	内容	実行者
・ 節水	洗い物をするときには水を出しっぱなしにしない	事務部門
	洗車時は水を出しっぱなしにしない	処分場部門

### ③廃棄物のリサイクル率の向上

項目	内容	実行者
・ 再資源化率の向上	分別を徹底し、品目毎に排出する	現場・処分場部門
	少人数で効率よく分別する	現場・処分場部門

### ④コピー用紙の削減

項目	内容	実行者
・ コピー用紙の節約	両面コピーできるものは両面コピーする	事務部門
	メモ用紙として使用する、ムダに使用しない	事務部門
	液晶プロジェクターを使用し、会議の資料を減す	事務部門

### ⑤働き方改革の取り組み

項目	内容	実行者
・ 家事育児介護と仕事の両立	安心して育児や介護との両立ができるようにする	全員
・ 仕事の仕方を見直す	無駄を省き、効率の良い仕事ができるように見直す	全員

### ⑥環境教育の実施

項目	内容	実行者
・ 環境教育	毎月開催の全員参加のミーティング時に実施	全員

### ⑦緊急事態の想定

項目	内容	実行者
・ AEDの使い方	高齢社員が多くなり、夏の暑さや冬の寒さが半端	全員
	ないため緊急事態に備えて使い方講習実施	全員

## 7. 環境関連法規への違反・訴訟などの有無

### 環境関連法規制等遵守状況

法規制等	遵守状況
廃棄物処理法	遵守
労働安全衛生法	遵守
改正リサイクル法	遵守
建設リサイクル法	遵守
容器包装リサイクル法	遵守
家電リサイクル法	遵守
廃PCB処理法	遵守
建設廃棄物処理マニュアル	遵守
建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル	遵守
大気汚染防止法	遵守
オゾン層保護法	遵守
フロン搬出抑制法	遵守
廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱	遵守
騒音規制法	遵守
振動規制法	遵守
消防法(危政令)	遵守
浄化槽法	遵守
石綿障害予防規則	遵守

環境関連法規制等を当社規定のチェック表により遵守状況を確認したところ、違反はありませんでした。また、過去3年間において、訴訟等はありませんでした。

## 8 次年度の取り組み(代表者の評価)

環境経営目標の見直しもし、今後も目標に向かって社員全員で頑張っていきたい。

また今回はAEDを設置し、使い方の講義を受けた。今後は安心・安全に働くことができる環境づくりにも力を注ぎたい。

また、近隣から騒音の苦情があったので今後は地域の人たちの過ごしやすい環境にも気をつけていきたい。

見直し	見直しの有無
環境経営方針	無し
環境経営目標、環境経営計画	無し
実施体制	無し